

産業廃棄物処理計画書

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

吹田市長 様

提出者

住所 〇〇府〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号

氏名 吹田化学株式会社  
代表取締役 大阪太郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

代表者印、社  
印等の押印は  
不要です。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	吹田化学株式会社 A工場
事業場の所在地	吹田市〇〇町〇〇丁目〇番〇号
計画期間	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1, 2のとおり

- ①事業の種類
- ②事業の規模
- ③従業員数
- ④産業廃棄物の一連の処理の工程

別紙1, 2に記載して頂く場合は、  
記入不要です。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	
	(今後実施する予定の取組)	

別紙 1, 2 に記載して頂く場合は、  
記入不要です。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の)
②計画	(今後分別する予定の産業廃)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	（これまでに実施した取組	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	（今後実施する予定の取組	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
②計画	（これまでに実施した取組	
	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
（今後実施する予定の取組		

別紙 1, 2 に記載して頂く場合は、  
記入不要です。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
(これまでに実施した取組)		

別紙1, 2に記載して頂く場合は、  
記入不要です。

②計画	<b>【目標】</b>	<b>別紙 1, 2 のとおり</b>	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t
	再生利用業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t
	(今後実施する予定の取組)	<b>別紙 1, 2 に記載して頂く場合は、 記入不要です。</b>	
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(〇〇〇〇年度)実績量

計画：今年度(〇〇〇〇年度)計画量

単位：トン/年

産業廃棄物の種類		排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
コード	名称	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
600	廃プラスチック A工程	150.000	130.000									150.000	130.000	150.000	130.000			150.000	130.000		
600	廃プラスチック B工程	250.000	200.000									250.000	200.000			250.000	200.000				
300	廃油 C工程	80.000	60.000	40.000	50.000							40.000	10.000					40.000	10.000		
200	有機性汚泥 D工程	12800.000	12000.000					11520.000	10800.000			1280.000	1200.000					80.000	1200.000		
200	無機性汚泥 E工程	3000.000	2700.000					2700.000	2430.000			300.000	270.000								
400	廃酸 F工程	1.000	1.000									1.000	1.000								
合計		16281.000	15091.000	40.000	50.000	0.000	0.000	14220.000	13230.000	0.000	0.000	2021.000	1811.000	150.000	130.000	250.000	200.000	1470.000	1340.000	0.000	0.000

該当する産業廃棄物の種類のみについて記入してください。  
 単位は(t/年)です。  
 小数点以下3桁表示として記入してください。

再生利用委託量とは、以下の業者に委託した量をいいます。  
 ・「登録廃棄物再生事業者」(法第20条の2)  
 ・「産業廃棄物再生利用大臣認定」再生利用認定業者(法第15条の4の2)  
 ・上記に該当しないが、事業者が委託した産業廃棄物を再生処理していることが確実な再生事業者

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合限り、空欄へ産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。  
 ※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業場	事業場の従業員数を記入してください。 (臨時職員なども含む。)	16 : 化学工業
②事業場		製造品出荷額 : 〇〇〇〇〇万円
③従業員数		●●●名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙「産業廃棄物発生工程フロー」のとおり 当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程 (当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。) を記入してください。	

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等、別紙を参照)

・別紙「管理体制及び各部署の役割」のとおり	管理体制図には役職名と産業廃棄物処理に係る役割を記入してください。  既存資料を添付し代用する場合は、 <u>個人名は削除してください。</u> 書ききれない場合は、「管理体制図及び各部署の役割の例」を参考に作成し、添付してください。
-----------------------	--

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・生産設備の更新を順次行い発生を抑制した。(廃プラスチック) ・排水処理設備の修繕を行い汚泥の脱水効率を高めた。(汚泥)
②計画	(今後実施する予定の取組) 上記に加え、下記の取組みを実施予定 ・樹脂生産工程をクローズ化し、発生を抑制する。(廃プラスチック) ・ペレット製造機の温度調整により発生を抑制する。(廃油) ・排水処理設備の更新を検討する。(汚泥)

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック、廃油、有機性汚泥、無機性汚泥、廃酸はそれぞれに分別、保管をしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取組みを維持、推進していく。



5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) ・特になし

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) ・特になし

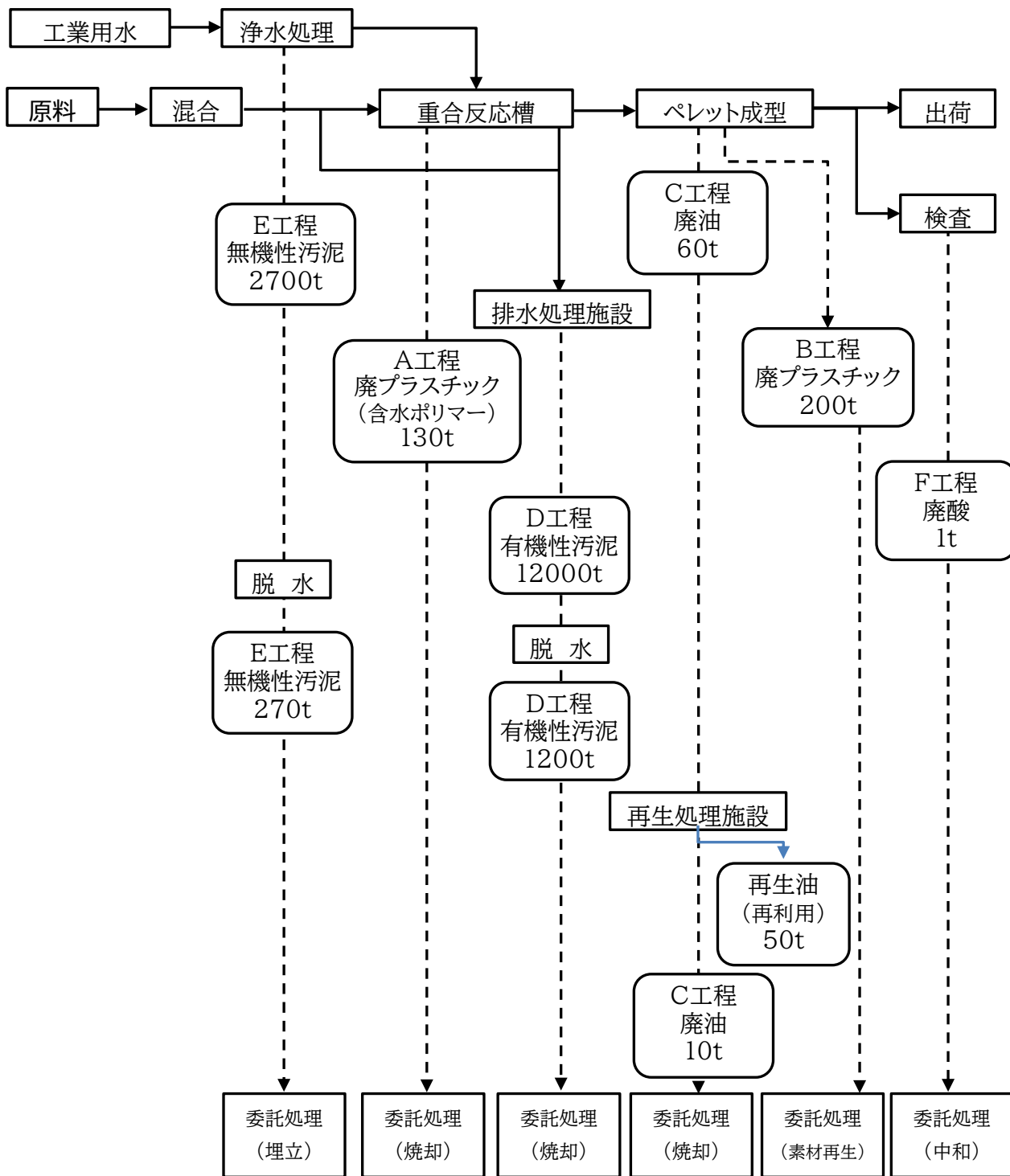
7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) ・特になし

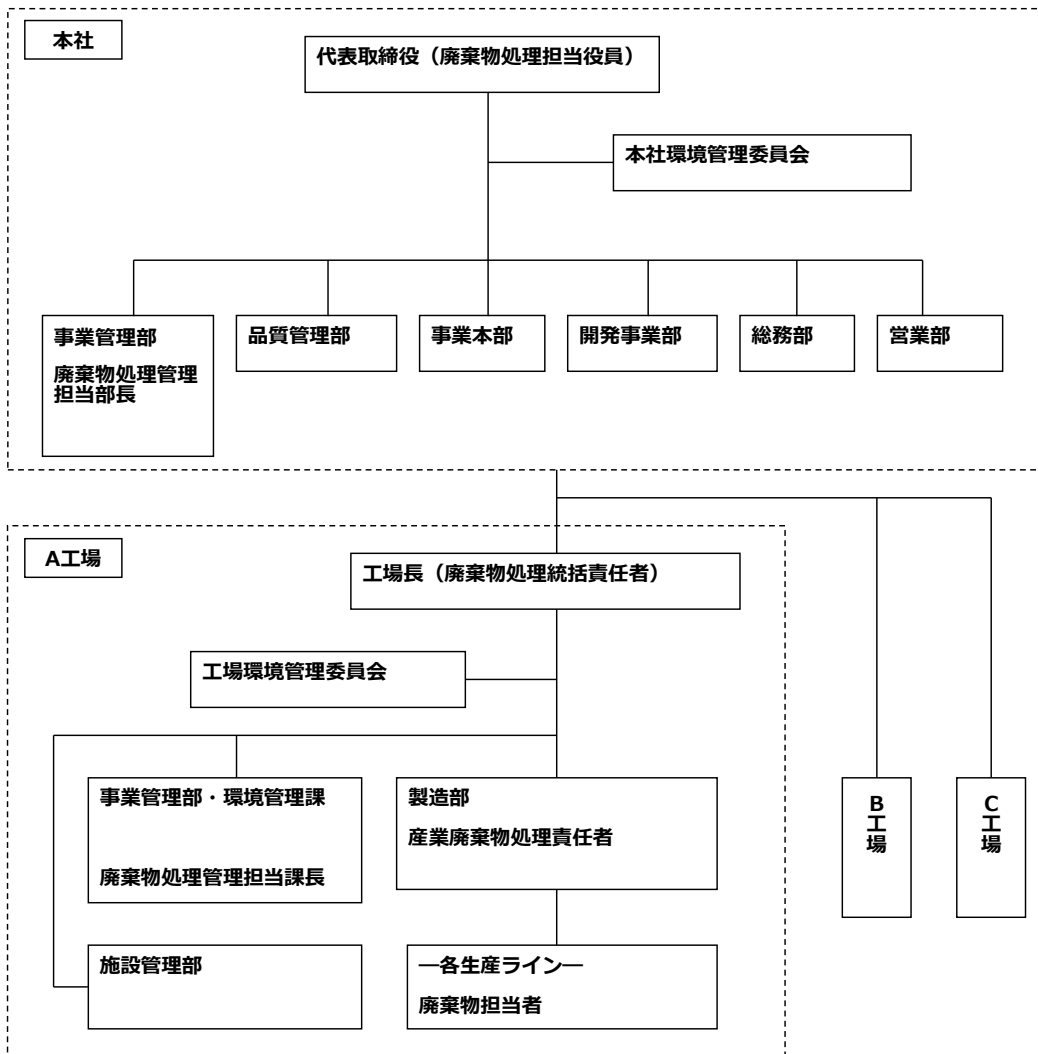
8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 ・再資源化率の高い事業者を選定している。
②計画	(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者から選定する。 ・電子マニフェストを運用している処理業者を選定する。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。

〔産業廃棄物発生工程フロー〕



# 管理体制図及び各部署の役割の例



【各部署の役割】

統括責任者		A工場 工場長
廃棄物担当		組織名：事業管理部・製造部 組織人数：〇人
役割	工場環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物処理に関する検討</li> <li>○廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。</li> <li>・委員長－工場長</li> <li>・委員－関連部署部課長</li> <li>・事務局－事業管理部環境管理課</li> </ul>
	廃棄物処理統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物処理方針の策定</li> <li>○支店の廃棄物管理規程の策定・改廃</li> <li>○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認</li> </ul>
	廃棄物処理管理担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物処理計画の作成</li> <li>○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討</li> <li>○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握</li> <li>○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理</li> <li>○委託契約の締結</li> <li>○産業廃棄物管理票の交付・管理</li> <li>○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置</li> <li>○監督官庁への各種報告</li> <li>○社員、関連会社に対する教育、啓発</li> <li>○その他関係する事項</li> </ul>